



きずな

チャレンジリーグHブロック

チャレンジリーグHブロックは、若葉ボンバーズ、藻南FC、札幌南、TFCジュントス、発寒FC、FCSalvia、福住、リベルタ厚別の8チームで戦いました。最終節まで勝ち点差1の上位3チームの拮抗した戦いの中で、藻南FCが2勝し、11勝1敗2分けの勝ち点35で優勝を果たしました。優勝した藻南FCはチームとしてまとまりのある攻撃で多彩なプレーからの50得点、守備に於いても組織的な堅守で12失点の得失点差38点と安定した戦績であった。2位には10勝2敗2分け勝ち点32の札幌南、3位には10勝3敗1分け勝ち点31の若葉ボンバーズ



リーグ戦終了後の終了式で優勝した札幌藻南FC主将の挨拶

で、両チームとも攻守にバランスのとれたチームで、優勝した藻南FC戦は、札幌



石狩市スポーツ広場で2ピッチでの試合風景

1分け1敗で、若葉ボンバーズは1勝1敗と互角の戦いが見られた。4位以下の成績は、勝ち点23のTFCジュントス、勝ち点16の発寒FC、勝ち点15のリベルタ厚別、勝ち点7の福住、勝ち点1のFCSalviaの順で、全56試合中引分が8試合、1点差が14試合、2点差8試合、3点差7試合と均衡した戦いが見られた一方で、4点以上14試合の中で7点差以上の試合が7試合もあり、リーグ編成時於ける昨年度の実績と当該年度の自主申告等での課題も感じました。また、全試合を通じ各チームの選手は非常にフェアプレーを意識したプレーを行っていたと思います。

このリーグは、6日目のSSAP会場を除いた6日間を石狩市スポーツ広場（有料）で2ピッチにより午前中で実施し、選手の待ち時間の短縮を図り、更に、隣接する芝で午前中若葉ボンバーズとのU-9、10とリーグ戦終了後のピッチでU-11の交流試合を開催し、多くの選手が参加し延べ66試合行うことができ、選手がサッカーを楽しんでいる様子が見られ、リーグ戦と合わせ多くのサポーターの声援もあり、チームとしての活動も充実したものがあったと思っています。各チームのご協力と天候にも恵まれ全日程を予定通り消化し、円滑にリーグ戦を運営することができました。運営面で、帯同指導者を考慮し一人審判制を採用しましたが、全日少に繋がることもあり4人制との意見もあり、今後の課題と考えています。



ベンチから試合を見守る選手達